



たきのうえ を思う

過日大同窓会で神社のお参りをさせてもらつた。その時の先輩方が、ここに保育所があり懐かしいと言っていたので、初めて私が通っていた場所を知ることが出来た。

昭和二十四年に高校を卒業後、木工所の社長宅に住み込み帳場として働いた。当時滝上は風倒木景気が落ち始めていたが、人口一万を越して町議の過半数を木材屋が占めてい

にと祈つてゐる。滝上の衰退を悲し
み、七面鳥やチーズを売り出してい
る元気な滝上を見ると嬉しくなる。
残つてゐる人も大変でしようが、
いつまでもいつまでも元気な滝上

そう想えば幼い私が神社の階段で遊んでいる姿が見えそうであつた。その後火災により私は昭和二十一年に札久留小学校へ入ることになつた。その当時十校位あつたのだろうか、殆ど交流がなかつた。唯一想い出すのが、中学三年の時、全町弁論大会に出て「貧しき友よ希望を

た、工場も十件位あつた。若い私はこれから滝上が衰退することを予測出来なかつた。だから一生滝上で生活できるものだと思つてゐた。何の不満も無かつたが、新しい世界にあこがれが湧いてきて、お巡りさんになると云つて親と古里を離れた。

を守つていて欲しい。そして私たち
が喜びを知らせたい時や、悲しみを
訴えたい時も滝上を守つてはいる皆
さんがやさしく迎えてくれるのが
いちばん嬉しいのです。私も今滝上
公園にあるお墓に眠りたいと思い
とができぬ事になり、涙を飲んで

弁論大会に出て「貧しき友よ希望を持て」と言つて怒鳴つたのが懐かしい。今浪曲をやつているが、何か通じる所がありそうである。高校は紋別へ通わせて貰つた。朝六時頃自転車で滝上の駅まで往き、煙を上げる汽車で約一時かかり紋別駅に着く。

親も古里を離れさせた。両親は共に異郷の地で旅立つた。特に父のメモの中には「滝上に帰りたい。」と書かれていた。やつぱり滝上が良かつたのだと知りました。

とができない事になり、涙を飲んで親戚に譲りました。今はゴルフや川柳等趣味を楽しんでいる。でも心はひと時も滝上を忘れる事は無い。いつでも心は滝上に帰る事ができる
私です。

持て」と言つて怒鳴つたのが懐かしい。今浪曲をやつているが、何か通じる所がありそうである。高校は紋別へ通わせて貰つた。朝六時頃自転車で滝上の駅まで往き、煙を上げる汽車で約一時かかり紋別駅に着く。それから三十分位歩いてギリギリに学校に着く。帰りはその逆であるが、若いという事は凄いものである

両親は共に異郷の地で旅立つた。
特に父のメモの中には「滝上に帰り
たい。」と書かれていた。やつぱり
滝上が良かつたのだと知りました。
両親のお骨は滝上のお寺に収め、私
が七十五歳に成るまで毎年滝上に
通つた。古里は親と一緒にあり、一
日も忘れる事が出来ないものであ
る。

A black and white illustration of a person from the waist up. The person is wearing a cap with the word "NOUVEAU" printed on it. They are holding a golf club in their right hand. A cherry blossom branch with flowers is attached to the cap. The background is plain white.

あまり疲れたと思わなかつた。ただ勉強も部活もする暇はなかつた。

天気予報を見ていても、滝上に豪雪や猛暑があると事故が無いよう

A black and white cartoon illustration of a character with a large, bulbous nose and a wide, toothy grin. The character has short, dark hair and is wearing a simple, light-colored tunic with a belt. He is holding a long, thin sword or staff with both hands, pointing it towards the left. The character's name, "TAKIN", is written in a bold, sans-serif font above his head.